

子ども読書活動推進会議

28年4月に「子ども読書活動推進活動」が策定され、それぞれの場所で子ども読書推進に取り組んできました。その計画にも明記されているように、計画の進捗管理のために「子ども読書推進会議」が組織され、9月27日に第1回目の会議が開催されました。会議では、事前に調査した28年度と29年度前半の取組状況の報告があり、委員のみなさんから意見や感想を述べていただきました。

幼稚園・保育園…読み聞かせ、本の貸し出し、本の斡旋等に、多くの園が取り組んでいます。

小学校 …各学校では、朝読書、ボランティアによる読み聞かせ、読書週間・旬間の実施…など、多くのことに取り組んでいます。

中学校 …朝読書を実施している学校もありますが、朝の活動を学習や運動にしている学校もあります。

教育委員会 …読書コーディネーターを設置して取り組んでいます。(楽しい読書出前授業・ボランティアの小中学校への派遣・通信の発行・市報表紙に「家読」記事掲載)

小・中学校では、図書室の整備(本の廃棄や配架の工夫)をしたくても、忙しくてなかなかできないという悩みがありました。情報館の職員がお手伝いをして、整備に取り組んだ学校もありますが、情報館も職員のシフトはギリギリで運営しているので、全ての要望に応じられる訳ではありません。今後は、どんなことをどの程度お手伝いできるかのメニューを作成してお知らせしていくことになりました。

また、読み聞かせボランティアの方々からは、スタッフの減少やイベント参加者数の減少についてお話がありました。共働きの家庭が増えていることが要因のようです。

学校では「本を手渡す人」がいるといいという話が出て、ぜひ「司書」の設置を要望したいということになりました。「司書の設置」は、教育委員会の努力事項です。今後実現に向けて取り組んでいくことになっています。

子ども読書レベルアップ研修会

新潟県主催の「子ども読書レベルアップ研修会」が十日町情報館で開催されています。昨日までに3回実施されました。第1回は「どの子にも<読む力>から<情報を使う力>まで」(by 青山短期大学教授 堀川照代様)、第2回は「本を身近におく子を育てるために」(by 新潟県立大学講師 錦恵美子様)、第3回は「読書会を体験してみよう〜リテラチャーサークルを中心に〜」(by 新潟大学準教授 足立幸子様)でした。市内の学校の職員の方々からも参加していただきました。それぞれ、グループワークや演習があり、とてもいい研修会でした。研修会の中で印象に残ったことを以下に書きます。

- ・人生を変えた本に出会うのは10代34%、20代27%…影響大!
- ・読書で「感情体験」ができる。負の体験も。
- ・本を手渡すことは、深いところに残り、生きる支えになる。素晴らしいこと!
- ・小さい時の「読み聞かせ」で「楽しい」と感じるのが、生涯にわたって本を友達にする。

第4回「体験しよう!本を知り人を知るビブリオバトル」は、10月31日に行います。